GRADUATE SCHOOL OF INTERNATIONAL CULTURAL STUDIES, TOHOKU UNIVERSITY
東北大学大学院
国際文化研究科 広報
No.13 2003.3
〒980-8576 仙台市青葉区川内 TEL 022-217-7541
東北大学大学院 国際文化研究科 広報委員会 http://www.intcul.tohoku.ac.jp

COE採択について

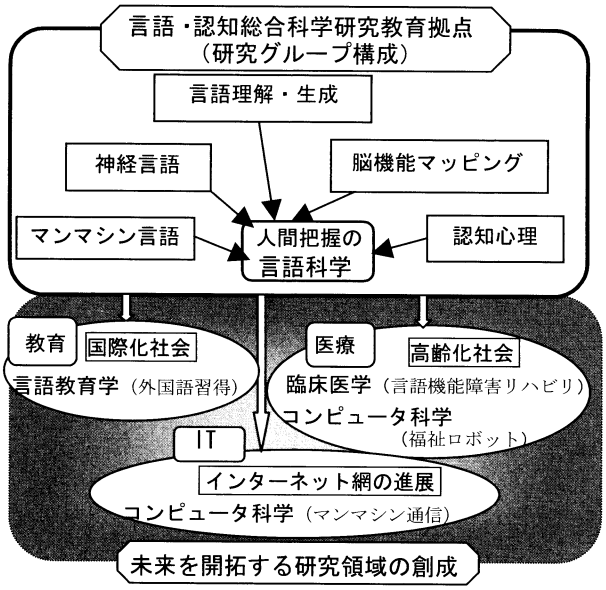
国際文化研究科を中心とした21世紀COEプログラム「言語・認知総合科学戦略研究教育拠点」

佐藤　滋

昨年6月に平成14年度「21世紀COEプログラム」の公募要項が文部科学省から発表になり、同7月に国際文化研究科は、未来科学技術共同研究センター、情報科学研究科、医学系研究科・医学部附属病院、工学研究科と共に、「言語・認知総合科学戦略研究教育拠点」の形成による人文科学分野でのCOEプログラム拠点の申請を行った。9月初旬の文科省ヒアリングを経て、9月末に本研究科を中心としたCOE拠点の採択が決定した。東北大学としては、5分野全体での申請件数は12件、このうち文科省ヒアリングは9件に対して行われ、5件が採択された。採択拠点全体の詳細については、文科省の関連サイト（http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/coe/）に掲載されている。その後、ヒアリングでのコメントを参考にして文学研究科を加えてのCOE拠点の出発となった。

拠点での研究教育構想の概要を記しておく。言語学の分野では、生成文法理論と認知言語学が言語能力と認知能力との連関について異なった立場から研究を行ってきた。しかし近年の傾向として、脳科学、認知心理学、計算機科学といった言語関連隣接分野が言語学の成果に関心を持ち、共同研究の必要性が叫ばれてきた。その契機は、例えば、脳機能イメージング法などの非侵襲的脳観測技術の進展の結果、言語の脳内表象データの収集が可能になったことなどにある。しかし、国内・海外の大学等の研究機関では、研究科等の構成と連動した学問分野の縦割りや学会の慣習等が障壁となって、言語関連科学分野間の共同研究はきわめて少なく、言語科学分野での学際的な新規研究開拓の志向はきわめて弱いのが現状である。

このような状況の中で、東北大学は国際文化研究科と他の研究科間での学際的な言語関連の博士課程学生の共同研究教育の実績を持ち、文理融合的な独自の歩みをしてきた。国際的な研究活動についても、認知言語学研究グループは多くの国際会議での研究成果の発表を経て、2000年8月には仙台で東アジア認知機能言語学国際会議を主催した。また、医学・脳機能学グループは脳イメージングを用いたヒト脳高次機能の研究、失語症の神経心理学的研究で多くの世界的業績をあげ、2002年6月には仙台でヒト脳機能マッピング国際会議をアジアで初めて主催している。この例のような国際的な学術活動の実績をもとにして研究科や分野を超えて文理融合・学際的な



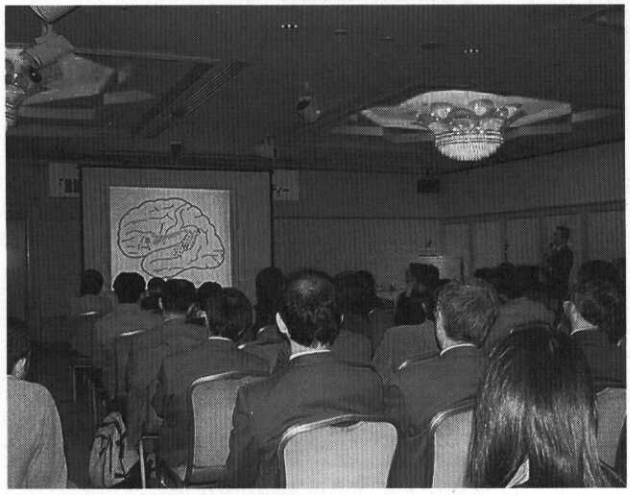
開所式　　挨拶する堀江薫教授

言語・認知科学研究のための国際的拠点を形成することを計画した。それによって脳機能学からの言語学モデルの評価とそれの言語理論へのフィードバックによる言語科学体系の再構築という新しい言語・認知科学の創成を構想している。人間の言語能力は、大脳の外界認知能力と密接に繋がっているというのが近年の脳科学の教えるところであり、言語研究が今後次第に学際科学化していくことが予想される中で、学際的研究教育実績を持ち、国際的な活動を続ける本言語・認知科学研究拠点の役割は重要である。

この拠点の特色を挙げるとすれば、次の２点であろう。

①　広範な学際的言語・認知科学研究拠点を形成することによる新研究領域の創成：

言語学を中核にし、脳科学、心理学、情報工学など言語科学関連分野を包含した研究者集団による広範な学際的拠点を形成し、ヒト脳特有の言語の仕組みの理解、すなわち人間対人間のコミュニケーションにおける言語の獲得・運用・喪失過程の解明、およびその人間対機械の対話への応用を目的としている。人間の本質を言語活動と捉え、文理系・学際融合型研究体制の中で「人間把握の言語科学」の確立と若手研究者養成による新研究領域の創成につながることを期待している。



記念講演する山鳥重医学研究科教授

②　学際的文理融合型体制による共同研究の相乗効果：

理論言語学的研究を脳機能イメージング学、音声言語処理工学、認知心理学の実験科学的方法論で支える体制をとっている。言語理論の脳内表象データによる評価とそのフィードバックによる理論の再構築というサイクルは、言語学と脳機能学それぞれに相互的に自分野だけの研究では到達できない成果をもたらす。このような現場での学生の教育は、次世代の研究者を育成する観点から新学問分野の創成に直結することが期待できる。

（言語生成論講座）

開所式　　挨拶する玉井信医学部長